

東日本大震災から9年



東日本大震災から9年を迎えた3月11日。

東日本大震災南三陸町追悼式は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため式典をとりやめ、自由献花方式により実施いたしました。多くの人が会場にお越しになり献花を行いました。

また、3月9日に二次開園し旧防災対策庁舎の近くまで行くことができたようになった震災復興祈念公園にも、多くの人が訪れ、手を合わせました。

9年という月日が流れても決して癒えることのない悲しみ包まれた南三陸町。

震災により犠牲になられた方々のご冥福をお祈りするとともに、復興への誓いを新たにすため、この日は、鎮魂の深い祈りに包まれました。



広報担当からのお知らせ

この広報4月号は、3月18日現在の情報です。
新型コロナウイルスの感染拡大の状況により、この号でお知らせしているイベントなどが中止や延期となる可能性があります。
その際は、町HP、防災行政無線やフェイスブックなどでお知らせしますので、ご了承くださいますようお願いいたします。

交通安全章緑十字銀章受章おめでとうございます

交通安全活動に35年間尽力されている沼倉正也さん（☎小森）に対し、その功績をたたえ、交通安全章「緑十字銀章」が授与されました。また、妻・美津江さんにも感謝状が贈られました。

緑十字銀章とは、多年にわたり交通安全活動に尽力し、優良安全運転管理者などに送られる交通安全章です。

沼倉さんは、「これまで35年にわたり活動してきました。これからも地域の安全・安心のため、微力ながら頑張りたい」と話されました。



百寿のお祝い 小野寺はつのおさん（☎沖田）



2月16日に百寿を迎えた小野寺はつのおさんに、町からお祝い金と花束が贈られました。

はつのおさんは、散歩が趣味で、週に2回集会所まで歩いていくそうです。

今一番の楽しみは、その集会所で行われている百歳体操とお茶会に参加することだと教えてくださいました。また、縫い物も好きで写真の道中着もご自身で縫ったそうです。

食べ物の好き嫌いも特になく、「なんでもおいしく食べること」が長生きの秘訣なのでしょう。

はつのおさんには、お子さんが5人、お孫さんが11人、ひ孫さんが25人、玄孫さんは2人いらっしゃるそうで、ご家族もご長寿を喜んでいることでしょう。

はつのおさん、いつまでもお元気で。百寿おめでとうございます。

3月10日（火）戸倉保育所に、兵庫県西宮市職員の谷口博章さんからグランドピアノが寄贈されました。

谷口さんは、東日本大震災の直後、本町に派遣され町長秘書や広報を担当しており、平成23年5月1日に発行した「広報南三陸 災害臨時号vol.1」は谷口さんが作成したものです。

また、ピアニストとしても活躍していた谷口さんは、派遣を終えた翌日、避難所で演奏をし、避難者の人々は優しいピアノの音色に聴き入りました。

今回のご寄贈は、平成30年にご自身が脳梗塞にかかったことで、「自分の代わりとしてピアノに南三陸町へ行ってほしい」という思いからだそうです。

この寄贈されたグランドピアノの演奏で、子どもたちは一生懸命歌の練習をしていました。

ご寄贈ありがとうございます

